

2025年（令和7年）

8月20日号 №312

年5回（5・8・10・12・2月）発行

発行 市川市消防局

〒272-0021市川市八幡1丁目3番1号

TEL.047-333-2111/FAX.047-333-8181

ホームページ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>

※右の二次元コードから消防局のホームページへ直接アクセスできます。

こちら

▼二次元コード



119

災害出動情報

市内において発生している災害の状況をお知らせいたします。

市川市公式Webサイト 二次元コード→



火災・救急件数（7月末日現在）

◆火災 51件【前年比 -4件】

◆救急 15,636件【前年比 -608件】

祝！全国消防救助技術大会出場！



全国消防救助技術大会（全国大会）とは？

全国の消防本部から選抜かれた消防士たちが、救助技術を競い合う大会です。救助技術の錬磨と、市民の消防に寄せる期待に応えることを目的としています。

令和7年7月18日（金）に、神奈川県厚木市で第53回消防救助技術関東地区指導会（関東大会）が行われ、本市から千ブリッジ救出、障害突破に、また、水難救助隊が「水上の部」3種目（複合検索、水中結索、溺者救助）に出場しました。

その結果、障害突破チームが8月に兵庫県で行われる全国消防救助技術大会（全国大会）への切符を手に入れました。

また、他の出場チーム（千ブリッジ救出、複合検索、水中結索、溺者救助）も全て入賞するなど、全チーム大健闘しました。



どんな種目があるの？

水上の部、陸上の部に分かれています。

【陸上の部】

- ・はしご登（と）はん
- ・ロープブリッジ通過
- ・ロープ応用登（と）はん
- ・ぼくく救出
- ・ロープブリッジ救出 Check1
- ・引揚救助
- ・障害突破 Check2

【水上の部】

- ・基本泳法
- ・複合検索 Check3
- ・溺者搬送
- ・人命救助
- ・水中結索 Check4
- ・溺者救助 Check5
- ・水中検索救助

Check 1

ロープブリッジ救出

4人1組（要救助者を含む）で、2人が水平に張られているロープ（20m）を渡り対面する塔の上へ進入し、要救助者をロープで確保し、けん引して救出します。

※要救助者とは、救助される役の者をいいます。



Check 3

複合検索

水中に沈んだ要救助者を、検索して引き揚げることが想定とした訓練で、障害物（浮環）を突破しながら、水中に沈んでいるリングを検索して引き揚げます。



Check 4

水中結索

3人がリレー形式で20m先の水中に沈んでいる浮環にロープを結ぶ種目で、第1泳者は「もやい結び」、第2泳者は「巻き結び」、第3泳者は「ふた回りふた結び」を行い、その所要時間を競います。



Check 5

溺者救助

3人1組（要救助者含む）で、25m先で助けを求めている要救助者に、ロープを結着した浮環を掴まらせ、手繰り寄せて救助します。



Check 2

障害突破

5人1組（補助者を含む）で連携して、「乗り越える」「登る」「渡る」「降る」「トンネルを通過する」などの災害現場を想定した障害物を突破します。

2025年度全国統一防火標語「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

もうだ！みんなて 救急広場に行こう！

日時
令和7年9月6日(土)
13時00分～15時30分

場所
市川市鬼高1丁目1番1号
ニッケコルトンプラザ内
「タワーコート」

皆さんは「いざという時」倒れている人に対して心肺蘇生法を実施したり、AEDを使えますか？
「救急広場」では大人から子どもまで気軽に救命を体験できるコーナーを用意していますのでぜひご来場ください！



「救急の日」及び「救急医療週間」が始まります！

「救急の日」及び「救急医療週間」とは？

毎年9月9日を「救急の日」として、この日を含む日曜日から土曜日までの1週間を「救急医療週間」といいます。この「救急の日」及び「救急医療週間」は、皆さんに救急医療や救急業務について正しい理解と認識を深めていただく大切な期間です。

消防局では救急医療週間の行事として、子どもから大人まで楽しく体験・学習できる「救急広場」を開催します。

救急広場にご来場いただき、命の大切さや救急車の正しい利用方法などを学んでみませんか？

会場には千葉県マスコットキャラクターで人気の「チーバくん」も来場する予定です。

災害発生時の心得

～むやみに行動を開始せず、落ち着いた行動を～

大規模な災害が発生すると公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。

災害発生時に多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始めると、火災や沿道の建物からの落下物などにより負傷する危険があるほか、災害時に優先されるべき救助・救急活動の妨げとなります。

【災害発生時には「むやみに移動を開始しない」】

- まずは自分の身の安全を確保し、職場や集客施設等の安全な場所にとどまろう。
- 災害用伝言サービスにより、家族の安否や自宅の無事を確かめよう。
- 交通情報や被害情報などを入手しよう。

【日ごろから準備しておきたいこと】

- 事前に家族などと安否確認の方法や集合場所を話し合っておこう。
- 職場などに歩きやすいスニーカーや懐中電灯、手袋、飲料水、食料、マスク、除菌シートなどを用意しよう。
- 徒歩やバスにより帰宅経路の状況を確認しておこう。
- 帰宅経路のコンビニやガソリンスタンドなどの場所を確認しておこう。
(千葉県や九都県市ではコンビニやガソリンスタンド等と徒歩帰宅支援協定を締結しており、水道水、トイレや交通情報などを可能な範囲で提供していただけます。)
- 携帯電話の充電器やモバイルバッテリーを持ち歩こう。

災害時帰宅支援ステーションステッカー



○T東葉石油商業組合に加盟する県内のガソリンスタンド



○コンビニエンスストア等

応急手当普及員講習を開催します！

応急手当普及員とは？

応急手当普及員とは、消防局の指導員と共に自らが所属する事業所等で応急手当の指導を行い、他の従業員の応急手当に対する意識を向上させ、応急手当の普及啓発を図っていただく立場の方を言います。

- 対象
- ① 市内在住または在勤で、応急手当の普及啓発活動の推進に関心のある方
 - ② 市内の事業所などで普通救命講習会を開催し、従業員等に対して指導を行う意欲のある方
 - ③ 3日間すべての講習が受講できる方

日時 令和7年10月21日(火)～10月23日(木) 3日間
9時～17時

場所 市川市消防局 4階会議室
申込 救急課 047-333-2111
(音声ガイダンス2番)



詳細は市川市公式Webサイトを参照ください。

感震ブレーカーを設置しよう

皆さんは、感震ブレーカーをご存じですか？
感震ブレーカーは、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に、電気機器等による火災を防止する有効な手段です。

主な感震ブレーカーの種類

出典：内閣府ホームページ
(https://www.mri.go.jp/policy/safety_security/industry1_safety/oshirase/2015/0/20150406-1.pdf)



詐欺に注意してください！！

消防では、感震ブレーカーの訪問販売は行っておりません。「消防署から来ました」「消防に頼まれて販売しています」など、消防をかたった詐欺にご注意ください。

詳細は市川市公式Webサイトへ

